

第98期 中間事業報告書

2024年1月1日～2024年6月30日



FUKUDA REPORT



株式会社 **福田組**

証券コード：1899

WEBサイトのご案内

様々なコンテンツを掲載している
当社WEBサイトをご利用ください



スマートフォンからも
ご確認いただけます

地域に根差し、地域を超えて
マルチ・ステークホルダーとの
強い絆を築いてまいります。



代表取締役会長
福田 勝之



代表取締役社長
荒明 正紀

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて当社は2024年6月30日をもって、第98期第2四半期(2024年1月1日~2024年6月30日)を終了しましたので、ここに当第2四半期の概況をご報告申し上げます。

当社グループは「持続的かつ安定的な成長」を実現すべく、「長期ビジョン2025」および「中期経営計画2025」に掲げた施策を着実に実行し、今後とも株主の皆さまのご期待に沿えるよう邁進

する所存でございます。

株主の皆さまをはじめ全てのステークホルダーの満足を第一とし、グループ一丸となり取り組んでまいりますので、今後とも変わらぬご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2024年9月

当第2四半期累計期間の連結事業概況

当第2四半期連結累計期間の連結業績は次のとおりであります。

不動産の販売事業、並びに当期の連結受注高が順調に推移していることから、売上高は前年同期と比べて8.3%増の757億円余と

なりました。

利益面では、大型開発物件の引渡しにより不動産事業売上高が増加したことに伴い、売上総利益は前年同期と比べて34.6%増の83億円余となりました。また、不動産販売に伴う販売費の計上に

財務ハイライト



より、販売費および一般管理費は増加しているものの、売上総利益の増加がそれを大きく上回っていることから、営業利益は前年同期と比べて129.9%増の35億円余となりました。同様に、経常利益においても、前年同期と比べて117.7%増の37億円余となりました。これらにより、税金等調整前中間純利益の増加、並びに法人税等の税金費用が増加し、親会社株主に帰属する中間純利益は前年同期と比べて126.4%増の24億円余となりました。

▼ 通期の見通し

我が国の経済は、政労使が一体となり賃上げ機運を醸成したことや、人手不足等を背景に賃上げ率が大幅に拡大したことを受け、内需を中心に底堅く成長するものと思われます。その一方で、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化や中東情勢のさらなる悪化などにより、想定以上に原油価格上昇が進み、物価高が再燃する恐れがあります。また、24年11月には米国の大統領選が控え、経済の先行きに不透明感が広がっております。

このような経済状況を背景に、建設業界におきましては、24年度の公共事業費予算は昨年度と同水準確保され、激甚化・頻発化する自然災害への対応や、老朽化する社会インフラ対策等、防災・減災・国土強靱化への投資により、公共投資は堅調に推移す

るものと思われます。

また、民間設備投資においては、半導体産業支援を中心とした政府による投資促進策や、好調な企業業績に支えられ、設備投資の拡大が期待されます。

当社グループでは、様々な経済環境の変化に対応すべく、ICT化、DX化の推進による「働き方改革の深化」に日々取り組んでおり、社員一人ひとりの労働環境を改善しながらも、当社グループ全体として、収益力および財務基盤の強化を図っております。

このような状況の中で、当社グループにおける収益状況は、当第2四半期時点において、当初計画に対する進捗率の面から見ると順調に推移しております。

以上のことから、今後の情勢には引き続き注視が必要ではありますが、現時点におきましては通期業績見通しの変更は必要ないものと判断し、通期（2024年12月）の連結業績につきましては、当初計画のとおり、受注高1,681億円、売上高1,664億円、営業利益58億円、経常利益60億円、親会社株主に帰属する当期純利益39億円を見込んでおります。

今後の受注状況等により業績の変動が見込まれることとなった場合、遅滞なく業績予想の修正を行う予定としております。

親会社株主に帰属する
四半期(当期)純利益



受注高(単体)



フクダハウジング リノベーションで叶える理想の空間

当社では、一級建築士をはじめとする有資格者が修繕・小規模リフォームからフルリノベーションまで、幅広くお手伝いさせていただきます。施工後は安心のアフターメンテナンスで、お客様との付き合いを大切にしています。

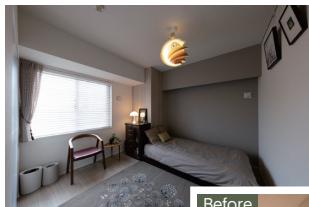
マンションリノベーション 施工事例

Mansion Renovation



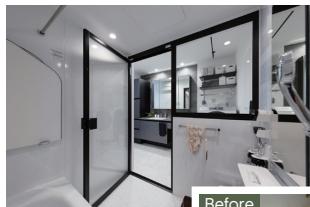
Before

LDKと洋室をつなげてゆったりとしたリビングに改修し、水廻りもLDKと一体化することで冷暖房の効率もアップ。友人を招いて夜にお酒を飲むことや、自宅での食事がより楽しくなったそう。



Before

お気に入りの照明たちがお部屋を華やかに彩る。メインのLDKは白い壁紙とし、個室はアクセントクロスを取り入れて遊び心をプラス。



Before

施主様のお好みに合わせて、扉は圧迫感のないガラスドアを採用。洗面と浴室がひとつながりの空間となり、開放感溢れるホテルライクな浴室に。



高級ホテルのような 非日常のラグジュアリー空間

リノベのテーマは「ホテルライクな非日常のくつろぎ空間」。カラーを統一してグレイッシュにまとめたシックなLDKは、直接光ではなくラインが美しい間接光を採用し、くつろげる癒しの空間を目指しました。昔から使っていた愛着のある家具やお気に入りのペンダントライト、新たに迎えた家具など、好きなものに囲まれた生活は日々の暮らしを豊かにしてくれます。

Data

築年数：築19年
リフォーム面積：86.58㎡
(26.19坪)
工期：4か月
構造：SRC造

Reform Point

- ・統一されたカラーコーディネート
- ・間接光をメインとした照明計画
- ・水廻りとLDKを一体化し冷暖房の効率アップ
- ・要所要所に設けた収納スペース



最高ランクの『ZEB』を取得した 中越支店がリニューアルオープン

2024年4月、ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビルディング）の最高ランク『ZEB（通称:鍵ZEB）』を取得した中越支店がリニューアルオープンいたしました。



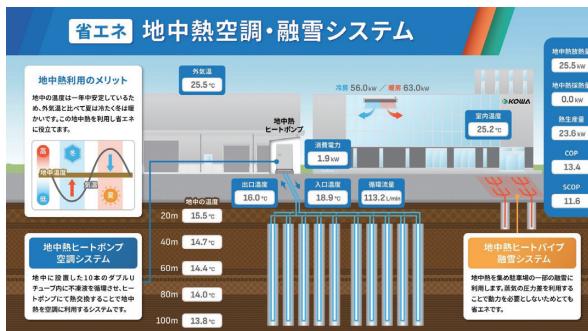
令和6年3月新築
地上3階・鉄骨造
延床面積：746.92㎡
導入設備
地中熱HP空調：63kw
太陽光発電：30kw
蓄電池：32kw
地中熱HP：駐車場16.5㎡
設計・施工：(株)福田組

●最高ランク『ZEB』取得

「環境にやさしい最先端技術（省エネ）」を随所に採用、「長岡の豊かな自然からエネルギーを創造（創エネ）する」ことにより、豪雪地において建物の消費エネルギーをゼロにすることを目指しています。



●「地中熱」の利用



当社が脱炭素の有効な手段として推し進めている「地中熱利用」の水冷式ヒートポンプにより、温室効果ガスの排出抑制を図るしくみを取り入れています。

今後も、環境に配慮した取り組みを発信し、地域や自然と調和した暮らしと、持続可能な社会のために、貢献していきます。

連結財務諸表

● 連結貸借対照表 (単位: 百万円/百万円未満切捨)

科目	当第2四半期連結会計期間末 (2024.6.30現在)	前連結会計年度末 (2023.12.31現在)
資産の部		
流動資産	104,752	99,801
固定資産	37,468	36,929
資産合計	142,221	136,731
負債の部		
流動負債	52,801	48,953
固定負債	7,168	7,444
負債合計	59,970	56,397
純資産の部		
株主資本	79,999	78,448
その他の包括利益累計額	1,509	1,175
その他有価証券評価差額金	1,658	1,355
土地再評価差額金	81	65
退職給付に係る調整累計額	△229	△245
非支配株主持分	741	709
純資産合計	82,251	80,333
負債・純資産合計	142,221	136,731

▶ワンポイント

【連結貸借対照表】

資産については、工事進捗による工事代金、および不動産の販売代金の入金により現金預金が増加し、前連結会計年度末に比べて総資産が54億円余増加し1,422億円余となりました。

負債については、支払手形・工事未払金等の減少はあったものの、工事進捗に伴う未成工事受入金等の増加により、前連結会計年度末に比べて35億円余増加し599億円余となりました。

純資産については、前期分の配当金の支払いがあったものの、親会社株主に帰属する中間純利益を計上したことから利益剰余金が増加し、前連結会計年度末に比べて19億円余増加の822億円余となりました。

● 連結キャッシュ・フロー計算書 (単位: 百万円/百万円未満切捨)

科目	当第2四半期連結累計期間 (2024.1.1~6.30)	前第2四半期連結累計期間 (2023.1.1~6.30)
営業活動によるキャッシュ・フロー	29,525	26,772
投資活動によるキャッシュ・フロー	△673	△667
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,364	△3,241
現金および現金同等物の増減額	27,487	22,864
現金および現金同等物の期首残高	29,418	28,146
現金および現金同等物の四半期末残高	56,905	51,010

● 連結損益計算書 (単位: 百万円/百万円未満切捨)

科目	当第2四半期連結累計期間 (2024.1.1~6.30)	前第2四半期連結累計期間 (2023.1.1~6.30)
売上高	75,718	69,890
売上原価	67,322	63,650
売上総利益	8,396	6,239
販売費および一般管理費	4,866	4,703
営業利益	3,530	1,535
営業外収益	219	210
営業外費用	41	42
経常利益	3,708	1,703
特別利益	68	39
特別損失	59	53
税金等調整前四半期純利益	3,717	1,688
法人税、住民税および事業税	1,356	803
法人税等調整額	△155	△230
四半期純利益	2,517	1,114
非支配株主に帰属する四半期純利益	56	28
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,460	1,086

【連結キャッシュ・フロー計算書】

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の減少や未成工事受入金の増加による収入面が大きかったことにより、295億円余の収入超過となりました。(前年同期は、267億円余の収入超過)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出が大きかったことにより、6億円余の支出超過となりました。(前年同期は、6億円余の支出超過)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済や配当金の支払いが大きかったことにより、13億円余の支出超過となりました。(前年同期は、32億円余の支出超過)

企業データ

■ 会社の概況 (2024年6月30日現在)

創 業 1902年1月
設 立 1927年12月
資 本 金 5,158,408,496円
従 業 員 数 909名
連 結 子 会 社 16社 (福田道路(株)他)

主要な事業所 ●本社

新潟市中央区一番堀通町3番地10
電話 025-266-9111 (大代表)

●本店・支店

新潟本店(新潟市中央区)
東京本店(東京都千代田区)
東北支店(仙台市青葉区)
名古屋支店(名古屋市中区)
大阪支店(大阪市北区)
九州支店(福岡市博多区)
中越支店(新潟県長岡市)
北海道支店(札幌市中央区)

●営業所

盛岡、千葉、横浜、村上、上越、広島ほか
5営業所

主要な子会社

福田道路(株)
(株)興和
フクダハウジング(株)
(株)レックス
福田アセット&サービス(株)
(株)新潟造園土木
福田リニューアル(株)
北日本建材リース(株)
(株)リアス

■ 役員 (2024年6月30日現在)

代表取締役 執行役員会長	福田 勝之	取締役 常勤監査等委員	岩崎 勝彦
代表取締役 執行役員社長	荒明 正紀	取締役 監査等委員	中田 義直
取締役 常務執行役員	山賀 豊	取締役 監査等委員	若槻 良宏
取締役 常務執行役員	齋藤 秀明	執行役員副社長	藤山 秀章
取締役 常務執行役員	大塚 進一	上席執行役員	追木 博幸
取締役 執行役員	砂田 修一	上席執行役員	山本 幹夫
取締役 執行役員	小見 年雄	執行役員	小川 暁彦
取締役	永塚 重松	執行役員	清水 浩
取締役	上原 小百合	執行役員	今野 和則
		執行役員	福田 雄介
		執行役員	渡邊 哲
		執行役員	矢澤 重正
		執行役員	古屋 真

注1. 永塚重松、上原小百合の両氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役です。

注2. 中田義直、若槻良宏の両氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役(監査等委員)です。

■ 株式の状況 (2024年6月30日現在)

発行可能株式総数 20,000,000株
発行済株式の総数(自己株式を除く) 8,367,592株
株主数 6,256名
大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行(株)	908	10.6
(公財)福田育英会	688	8.2
福田 直美	431	5.2
(株)第四北越銀行	419	5.0
小沢 和子	321	3.8
福田石材(株)	286	3.4

(注) 持株比率は自己株式(620,519株)を控除して計算しております。なお、当該自己株式数は、「株式給付信託(J-ESOP)」および「役員株式給付信託(BBT)」制度の信託財産として、(株)日本カストディ銀行(信託EIO)が保有する当社株式(92,200株)は含まれておりません。

株主メモ

事業年度 1月1日から12月31日まで

定時株主総会 3月

基準日 定時株主総会 12月31日
期末配当金 12月31日
中間配当金 6月30日

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関

【連絡先】

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
TEL 0120-232-711 (通話料無料)

【送付先】

〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号

単元株式数 100株

上場証券取引所 東京証券取引所 プライム市場

公告の方法 電子公告の方法により行います。

ただし、やむを得ない事由により電子公告による
ことができない場合は、日本経済新聞に掲載いた
します。

公告掲載URL <https://www.fkd.co.jp/>

【ご注意】

●株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、口
座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管
理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

なお、未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行の本支店で
お支払いたします。

●特別口座に記載された株式に関する各種お手続きにつきましては、三
菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座
の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。

なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。

株主優待制度

当社では、日頃の株主様の御支援に感謝申し上げるとともに、
弊社株式を末永く保有していただくことを目的に、株主
優待制度を導入しております。

保有株式数	優待贈呈内容	贈呈実施基準
200株以上	金券 2,000円分	毎年12月31日現在の株主 名簿に記載または記録さ れた内容に応じ贈呈
200株以上	金券 5,000円分	1年以上継続保有(株主名 簿に3回以上記載または記 録)された内容に応じ贈呈

贈呈時期 毎年3月下旬発送予定

●株主手続に関するFAQ

1 特別口座では株式の売買を行うことができないので、
特別口座にある株式を証券会社の口座に振替えたいのですが…

あらかじめ、証券会社に口座を開設した後で、当社の特別口座の口座
管理機関である三菱UFJ信託銀行までお申し出ください。単元未満株
式についても振替が可能です。振替にかかる手数料はございません。

2 単元未満株式を処分したいのですが…

当社では、単元未満株式の買取・買増請求制度を採用しておりますの
で、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行までお申し出
ください。

※すでに、単元未満株式を特別口座から証券会社の口座に振替えられた場合は、振替先の
証券会社にお申し出ください。

3 各種手続の申し出先を知りたいのですが…

①証券会社の口座にある株式
▶お取引先の証券会社

②特別口座にある株式
▶三菱UFJ信託銀行
(※右記までお問い合わせください)

〒137-8081
新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
☎ 0120-232-711
<https://www.tr.mufig.jp/dai kou/>



FUKUDA

本社 / 新潟市中央区一番堀通町3番地10
電話 025-266-9111 (大代表)